

教会紹介インタビュー!!

教会の庭はいつもお花でいっぱい。そんな中、花の香りに包まれて庭の手入れをしておられるお二人にインタビューしました。

— いつもきれいにお花の世話をしてくださってありがとうございます。5月の見ごろの花はなんですか？



門を彩るモッコウバラや東側の深紅のバラでしょうか。毎年、「教会のバラがいちばん美しい」と言って写真を撮って届けてくださる方もいるので、とてもうれしいです。いろんな方が声をかけてくださり、おしゃべりするのも楽しいです。



5月はモッコウバラが見ごろ



見事な深紅のバラも咲きます

— それは感謝なことですね！お花の世話で心がけておられることはありますか？



教会の中にも、観葉植物を置いたり、寄せ植えを飾ったりしています。教会に来てくださった方が気持ちよくゆっくり過ごしていただけるようにと願っています。お花を見に気軽に教会にも来て頂けたら、うれしいですね。



教会の中もお花と緑があふれています

どこまでもめけるような青い空が見えてくる五月



コラム 01 オススメの一冊

大谷美和子著 (くもん出版)
「神谷美恵子～ハンセン病と歩んだ命の道程～」

タブーに挑戦して愛を実践した人は数多くいますが、神谷美恵子をつきうごかしていたものは、ハンセン病の方々の温かい笑顔と希望にあふれた姿でした。「ハンセン病の方々の世話がしたい」。戦前から戦中にかけて、これはタブーへの挑戦そのものでした。当然、周囲から猛反対に遭いました。それでも、彼女は決してあきらめません



でした。数々の紆余曲折の末、ついに岡山県のハンセン病療養所「長島愛生園」で全国でも初めての精神科医療を始めたのです。彼女が人生をかけて愛と勇気を買った姿は、現代の私たちに何を問いかけているのでしょうか。

コラム 02 クリスマンはここからはじまった!

「このアンテオケで初めて、弟子たちがクリスマンと呼ばれるようになった。」という一節が聖書の中にあります。これは当時のギリシャのアンテオケという町の人たちが、イエス・キリストを信じる人たちを揶揄(やゆ)し、名誉を傷つける意味で「クリスマン」と呼ぶようになったという記述です。現代に置き換えると「キリスト屋」とか「キリストおたく」ということになるでしょうか？しかし後に起こる大きな迫害の中にも、彼らは信仰を守り通しました。その誠実で愛に満ちた生き方に周りの人たちは良い感化を受け、イエス様を信じる人々は増えていきました。どんな困難や嘲笑も、真実な生き方にはかなわなかったのです。そして今日に至るまでクリスマンと呼ばれる人たちが、世界中でイエス様の救いをのべ伝えているのです。

見いだされた者

なくなっていた物が見つかったとき、嬉しいものですね。とくに大切にしていたのに失ってしまい、悔しい思いをしていたものが、ひょんなことから手元に戻って来たときは感激します。

聖書の中で、キリストがこうおっしゃっています。「人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」(ルカの福音書19章10節)。これは、取税人ザアカイに言われたキリストの言葉です。ザアカイは、金の亡者(もうじゃ)になり、不正に税金を取り立てて、人々から嫌われていました。しかし、キリストと出会い、自分が神に罪を犯していたこと、自分の生き方が間違っていたことがわかって、キリストの前で悔い改めたのです。キリストは、ザアカイの砕かれた心を喜ばれ、その罪をお赦しになりました。神の目から失われていたザアカイは、見事に見いだされたのです。

私たちは、神様の目から見れば失われた罪人です。そのままでは滅んでしまいます。キリストは、そのような私たちを見いだして

救うために、十字架にかかられました。私たちが神様に対して罪をお詫びして、キリストの十字架を信じるなら、誰でも罪が赦され、救われ、神様の前に見いだされた者になります。

神様に愛されている私たちが、キリストの十字架を信じて救われ、神様に見いだされたら、神様はどれほどお喜びになるのでしょうか。

私たちはもともと神様のものです。私たちの魂には、神様のお名前が刻み込まれているのです。神様は、キリストの十字架を通して、私たちを呼び出してくださるのです。

私たちは誰ひとり、神様の目に失われたままでよい人はいません。あなたは、まだ失われたままではないでしょうか。誰も自分のことを理解してくれない、自分は誰からも愛されていない、と絶望しておられないでしょうか。いいえ、神様はあなたを見いだしたいと願っておられるのです。

一度教会の門を叩いてごらんください。必ず、神様の深い愛がおわかりになるでしょう。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

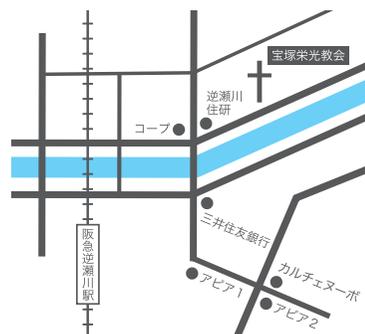
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。





「やまぶき」

晩春を迎える この頃に
やまぶきの あざやかな花の色は
目をうばって 離さない

ゆるやかに 垂れる枝には
いくつもの 花をつけて
歌でも 歌っているかのように
風に乗って ゆれている

ゆったりと 時間が流れていくようだが
またひとつ 季節が過ぎていく

無心の花に 幾度となく心を打たれ
洗われるような 思いをもってきたが
美しい やまぶきの花は
そんな人間の思いなど 寄せつけもしない

だからこんなに 美しいのだろうか
だからいつも 無心なのだろうか

いちじくの木から 教えを学びなさい
枝が柔らかくなり 葉が伸びると
夏の近づいたことが 分かる
それと同じように あなたがたは
これらすべてのことを 見たなら
人の子が戸口に近づいていると 悟りなさい

(聖書)